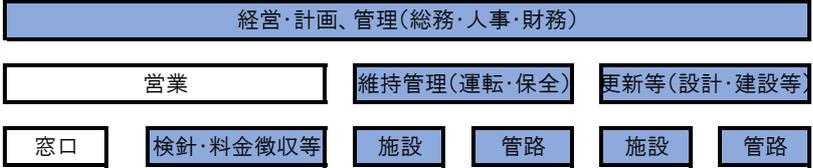


事業統合事例	沖縄本島と周辺離島との広域連携
事業規模等	給水人口 : 1,303,818 人 1日最大給水量 : 589,000 m ³ /日 給水面積 : km ² 職員数 : 【直営】 242 人 【第三者委託】 0 人 【委託】 125 人 ※数字は、令和2年4月1日時点
スキーム等	
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年11月 : 水道広域化へ基本合意 (第一段階:水道用水供給範囲の拡大) ○平成30年3月: 粟国浄水場送水施設供用開始 ○令和2年3月: 北大東浄水場送水施設供用開始
広域連携(事業統合)のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・人材及び技術力の確保 ・日常の施設管理水準の向上〔効率性上昇による収益性向上、高料金性の抑制〕 ・水質管理の強化(水源水質の悪化等への適切な対応) ・水資源確保(需要動向に応じた水源確保、緊急用海水淡水化装置による渇水時のバックアップ) ・水道料金の低減(沖縄本島と同額の用水供給単価[造水コスト]) ・経営基盤強化(造水コスト低減による他会計繰入減) ・人材及び技術力の確保 ・日常の施設管理水準の向上[効率性上昇による収益向上]
広域連携(または事業統合)のデメリット(課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・料金一元化による既存事業における収益悪化
業務手法(公民連携等)	公営を基本 + ②業務委託(個別・仕様委託)(浄水場運転管理)
対象業務(維持管理体制)	 <p>※営業、窓口はなし ※維持管理(運転)は、直営+委託、維持管理(保全)は、直営、施設は直営+委託</p>
浄水施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄本島: 浄水場運転管理の一部(夜間・休日)は業務委託 ・離島: 浄水場運転管理は、全日業務委託